

第1分科会

市民とともに公共サービスを守る

★会場参加のみ

自治体業務の民営化(民間委託・指定管理)や自治体 DX 推進など、公共サービスに民間企業参加が進み、業務の担い手も非正規化、外部化で多様化しています。こうした中で、本来の自治体のあり方が見失われていないでしょうか。県内各地の事例を報告・交流し、市民と自治体労働者がともに公共サービスを守るための方策を考えます。

第2分科会

福祉職場における専門性と働きがい

★会場参加のみ

福祉職場の職員が理解しておくべき「人権としての社会福祉」の基本理念と、それと対立する「自助・共助・公助」論の問題点を学習します。福祉ニーズが高まる一方で職員削減が進み、多忙化でものごとをじっくりと考える余裕も現場から失われつつある中、「福祉職の専門性をどう伸ばせるのか？ 働きがいのある職場をどうつくるか？」をともに考えます。

■講師・助言者 平野 方紹さん(埼玉自治体問題研究所理事長、元立教大学教授)

第3分科会

これからの公立保育所の役割って何？

★オンライン併用(ZOOM)

「異次元の少子化対策」と称する「こども未来戦略」により、「こども誰でも通園制度」導入や「保育士配置基準の改善」など、大きく変化する保育政策の動向を整理。少子化の中、民間参入を推進する一方で公立保育所を減らす動きが急速に進み、あらためて公立保育所の役割とは何か？公立で働く意義は何？といったテーマを、保育士がともに考えます。

第4分科会

地方自治を原点から学ぶ

★会場参加のみ

いま自治体現場は国から次々と降りてくる膨大な業務に追われ、「地方分権」とは逆の「中央集権化」が進んでいるかのようです。市民ニーズを政策に具体化する自治体の存在意義が薄れ、あきらめ感が強まり、働きがいを感じられず中途退職する職員も増える中、あらためて地方自治のそもそもの理念や制度を原点から学び、討論します。

■講師・助言者 渡辺 繁博さん(埼玉自治体問題研究所事務局長、元上尾市職員)



自治労連の「自治研活動」

自治労連は、自治体・公共サービスで働く労働者の労働組合として、職員の労働条件の維持向上に取り組むことと一体で、公共の仕事のあり方を問い、真に住民のための自治体行政を目指す運動にも取り組んでいます。それが自治労連の地方自治研究活動(自治研活動)です。

本集会には、県内各地の様々な職場・職種の自治体労働者が集います。

参加申し込み

参加申し込みは右の QR コードからできます。



会場アクセス

両会場とも JR 浦和駅西口徒歩 10 分程度

